

## 学校再編とこれからの学校教育の充実について（構想）

1. 今般の学校再編検討 = 平成25年3月「教育環境整備方針」の延長としての検討  
 ⇒ 25年当時の推計を上回る急激な児童生徒数の減少が見られることから、改めて「子どもにとってよりよい学び（学校生活）ができる環境をつくる」ことを第一義に検討

\* 25年 3月方針=被災直後の対応

\* 30年12月方針=その後の状況・見通しを踏まえての対応

・中学校は2年後（H33. 4） 小学校は10年後（H40. 4）を目途に再編

⇒ 今回の学校再編（教育環境整備）を、今後の本町学校教育の充実の起点にする

2. 上記再編の見通し及び現状の課題を基に、本町学校教育の充実を図る

## ★現状における課題

①「知」確かな学力 ⇔ （学力）小・中とも全国・県平均を下回る

②「徳」豊かな人間性や社会性 ⇔ 被災による心のケア いじめ・不登校対応 思いやり  
 コミュニケーション能力の育成等

小：自己肯定感 夢・目標 基本的生活（学習）習慣 社会への関心等

中：不登校 基本的生活（学習）習慣 社会への関心等

③「体」健やかな体 ⇔ （体力・運動能力）小・中とも課題が見られる

⇒ 上記課題を踏まえつつ、教育内容の改善・充実を図る

\* 被災校の復旧・復興（ハード整備）から教育内容の改善・充実（ソフトの充実）へ

⇒ 今後10年のスパンで学校教育の充実に取り組む

\* まちづくり（第6次総合計画）・学校再編と並行した学校教育の充実



## 今後10年を見通した取組（事業）

スケジュール見通し		学校再編	学校教育
	H30	学校再編方針策定	これからの学校教育の具体施策及び取組検討
第Ⅰ期	H31～32 H33	中学校再編準備 新中学校開校	各種取組①（基盤づくり） *目標《学力(体力) 小：県平均超》
第Ⅱ期	H34～37	小学校再編に向けて（校地・校舎等の検討）	各種取組②（取組の充実） *目標《学力(体力) 中：県平均超》
第Ⅲ期	H38～40	小学校再編準備	各種取組③（取組の発展）
	H41	新小学校開校	（小・中一貫校も視野に）

まちづくりと学校教育

山元町「子育てするなら山元町」

子どもたちの活躍が町を元気にする ↑

↓ 保護者・地域・町が学校を支援する

学校教育の充実

知・徳・体の育成

子どもにとってよりよい学びができる教育環境

学校教育がめざすもの

学校教育の充実

「未来を生き抜く力の育成をめざす学校教育」

「夢と志を持ち、その実現に向けて自ら考え行動する子どもの育成」

知

確かな学力の育成

(学力向上)

徳

豊かな人間性・社会性の育成

(心のケア・不登校対応)

体

健やかな体の育成

(体力・運動能力向上)

子どもにとってよりよい学びができる教育環境

(学校再編及びその他の学習環境整備)

## 今後の取組にあたっての人的体制【学務課】

## (1) 割愛

\*現職教員（中学校管理職＝教頭 31～32年度の2年間）

\*担当業務

◎中学校再編業務

・検討部会の設置・統括 ・学校間交流 等

◎働き方改革

○学校教育充実事業

・新教育課程実施に向けた指導支援（主に中）  
・学力向上への取組 ・いじめ・不登校対策 等

亘 理：学務課参事（兼）学校教育専門監（指導主事） … 教頭経験

大河原：教育総務課学校教育専門監（兼）指導主事 … 教頭経験

## (2) 任期付職員

\*退職教員（小学校管理職経験者 31～33年度の3年間）

\*担当業務

◎学校教育充実事業

・新教育課程実施に向けた指導支援（主に小）  
・学力向上への取組 ・いじめ・不登校対策 等

◎コミュニティ・スクール（学校運営協議会）設置

○小学校再編業務

・学校間交流 ・今後の見通し 等

## (3) 学務課内組織

学校教育充実事業

◎任期付職員

○割愛

○課長（班長）《予算等》

↓ ↑

各学校との連携

学校再編業務

◎課長《再編準備委統括 町長部局との調整》

◎割愛《学校との調整》

○任期付職員 ○班長

↓ ↑

各学校との連携

H31：校長・教頭・教務主任等中心

H32：+統合加配（各校1名）

H33：新設校に統合加配（1名）

## ☆ 学力向上への取組（下記参考）

①データ（全国学力・学習状況調査）

②大河原町教委の実践

③石川県中能登町の実践

④町内各校長の提言（実践）